

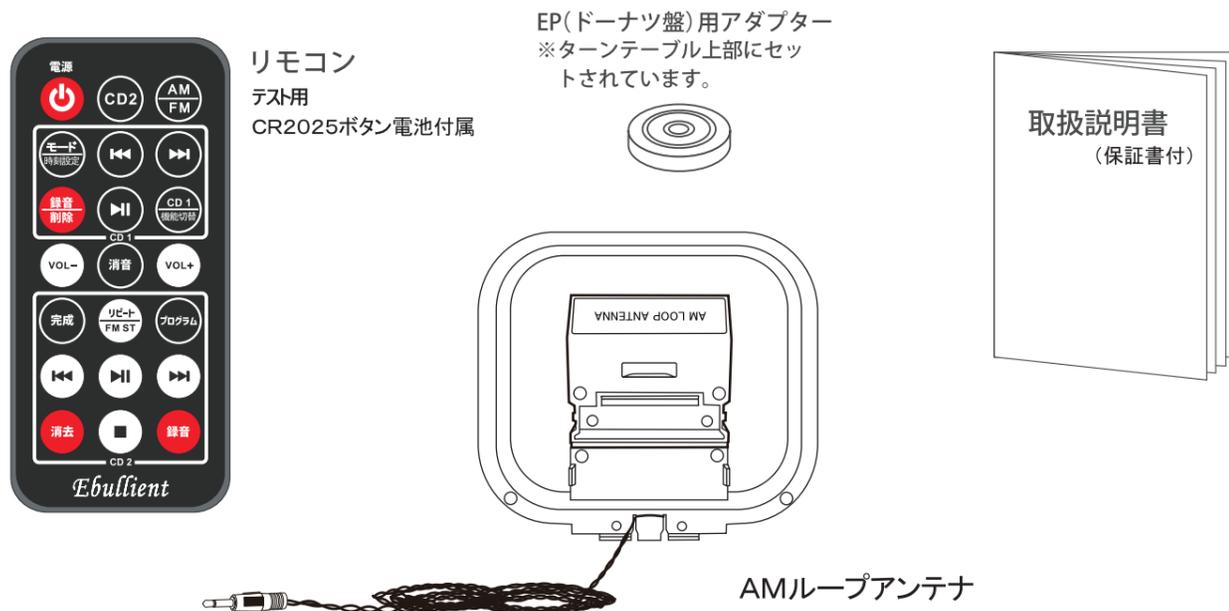
目次

■ 目次 / 付属品 2	■ CD① プレーヤーの使い方 12
■ 安全にご使用いただくために 3	■ CD② プレーヤーの使い方 13
■ 使用上の注意 4	■ 各音源からCDへの録音方法 14
■ 本体各部の名称 5	■ CDの完成処理(ファイナライズ)方法 15
■ 本体各部の名称-2 6	■ CD-RWの消去方法 15
リモコンの各部名称 / 電池交換方法 6	■ 曲番入り機能について 16
■ 仕様 7	■ 外部入力(AUX)の接続方法 16
■ 時計機能の使い方 7	■ 外部出力端子の接続・使用方法 16
■ レコードプレーヤーの使い方 8	■ イヤホン端子の接続・使用方法 16
■ 自動停止スイッチ / 45 回転用アダプターについて 9	■ 各音源からUSB/SDへの録音方法 17
■ レコード針について 9	■ USB/SDカードの使用方法 18
■ カセットプレーヤーの使い方(再生専用) 10	■ こんなときは / 故障かな?と思ったら 19
■ ラジオの使い方 11	■ ご相談窓口 / 修理窓口 / 保証書 巻末

付属品

※箱を開けたら、以下のセット内容を必ず確認してください。

- ① 本体 ② リモコン ③ ACアダプター ④ AMループアンテナ
- ⑤ 45 回転 EP(ドーナツ盤)用アダプター ※本体上面レコードプレーヤー部に収納されてあります。
- ⑥ 取扱説明書 (保証書付)



こんなときは / 故障かな?と思ったら

●故障かなと思ったら、まず以下の項目をご確認ください。

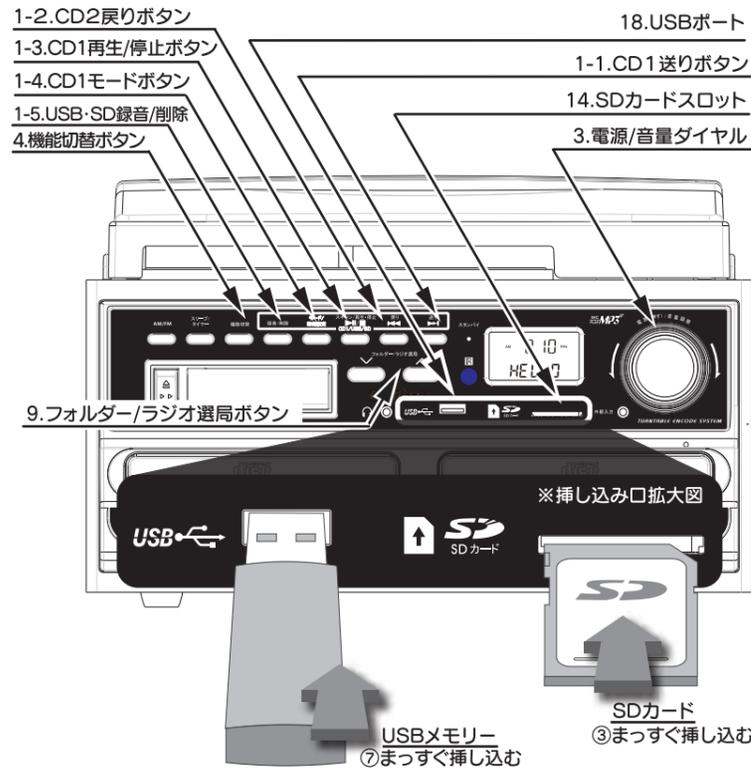
症 状		ここをお確かめください
スピーカー	音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ● 音量は十分ですか? ● ヘッドホンをジャックに差したままになっていませんか?
SDカード USBメモリー	再生できない 録音できない	<ul style="list-style-type: none"> ● SDカード左横にある「LOCK」スイッチを解除してください。 ● 他の機器(デジカメ、パソコン等で使用したUSB/SDの場合)は機器ごとの互換性により録音できない場合がありますので必ず初期化(フォーマット)後にご使用ください。 ● メディアの記録機能が破損している可能性があります。新しいUSB/SDカードでお試してください。 ● 他の音楽レコーダーまたはパソコンからUSB/SDへ入れた音楽データは互換性により再生できません。またそのデータが残っている状態での録音はできません。
カセットテープ	テープが入らない テープが回らない 再生できない	<ul style="list-style-type: none"> ● テープは正しく録音されたものですか? ● 機能切替がテープモードになっていますか? ● テープを挿入するとき、上下、左右、正しい向きになっていますか? ● 新しいテープでお試してください。
ラジオ	音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ● 機能切替がラジオモードになっていますか? ● 音量「ツマミ」が小さくなっていませんか? ● イヤホンが差し込まれていませんか? ● 選局ボタンでお聴きになりたい番組に周波数を合わせましたか?
	雑音が入る	<ul style="list-style-type: none"> ● 受信しやすい方向にアンテナを動かして、調整してください。(FM受信時) ● ループアンテナを接続し方向を変えて調整してください。(AM受信時)
CD	再生ができない 録音ができない 消去ができない	<ul style="list-style-type: none"> ● 市販CDですか? PC上での作成したMP3 (CD) は再生できません。 ● CDセット時「裏・表面」は間違っていないですか? (タイトル面が上です) ● DVD、多重音声CDは使用できません。 ● CD読取部に「指紋・汚れ・傷」などがあると読取できません。 ● CD-Rは録音した音楽データを消去することはできません。

USB/SDカードの使用方法

※録音用のUSBメモリー/SDカードは本機で使用するための新しい物をご用意下さい。他の機器で使用しそのデータが残っている場合は音楽ファイルであっても互換性により再生や録音ができない場合があります。必ずパソコンでフォーマットをしてからご使用下さい。

パート1：SDカード再生方法

- [3.電源/音量ダイヤル]を押し電源オンにします。
※ディスプレイが青く光り「HELLO」が表示
- 画面下段「--- bUSy」表示消灯後「4.機能切替ボタン」を数回押して「CARD」機能に切り替える。
- 「NO」表示後[14.SDカードスロット]にSDカードを挿し込みます。※「CARD」表示が点滅。
- 「001」が表示され音楽が自動で鳴ります。



パート2：USBメモリー再生方法

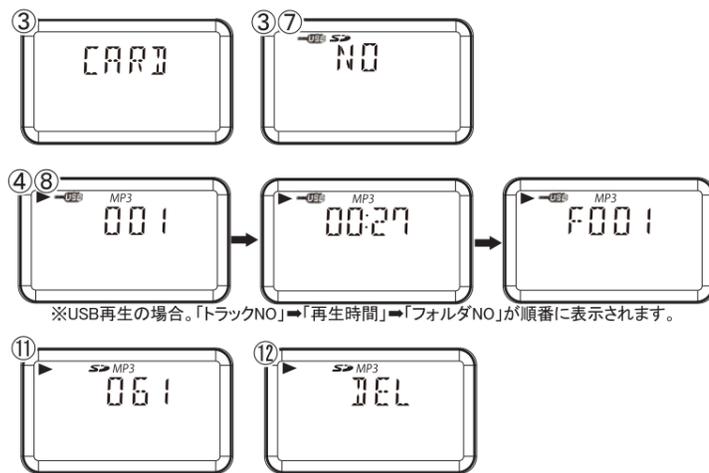
- [3.電源/音量ダイヤル]を押し電源オンにします。
※ディスプレイが青く光り「HELLO」が表示
- 画面下段「--- bUSy」表示消灯後「4.機能切替ボタン」を数回押して「USB」機能に切り替える。
- 「NO」表示後[18.USBポート]にUSBメモリーを挿し込みます。※「USB」表示が点滅。
- 「001」が表示され音楽が自動で鳴ります。

パート3：USB/SD共通操作

- USB/SD再生中以下の操作が可能です。
 - 先へ早聴き…[1-1.CD1送りボタン]を長押し
 - 次のトラックへスキップ…[1-1.CD1送りボタン]を短押し
 - 曲の最初へ早聴き…[1-2.CD1戻りボタン]を長押し
 - 曲の最初へスキップ…[1-2.CD1戻りボタン]を短押し
 - 前のトラックへスキップ…[1-2.CD1戻りボタン]を2回短押し
 - 曲の途中で一時停止、再開…[1-3.CD1再生/停止ボタン]を短押し
 - 10曲ずつ曲を飛ばす…[9.フォルダー/ラジオ選局ボタン]を短押し

パート4：USB/SDのデータ消去

- USB/SDに録音された音楽ファイルを1曲ずつ削除する事が可能です。
- [4.機能切替ボタン]でUSBまたはSD(実際に挿している機能)に切替え音楽を鳴らします。
 - [1-1.CD1送りボタン][1-2.CD1戻りボタン][9.フォルダー/ラジオ選局ボタン]を使用し実際に消去したい曲を鳴らします。
 - 消去したい音楽を鳴らしたまま[1-5.USB・SD録音/削除ボタン]を長押しします。
※「DEL」表示から曲数表示に戻れば削除完了です。



USBメモリー/SDカードの便利な機能：リピート機能

- USB/SD再生中の1曲、または全曲を繰り返し再生するリピート機能が使用可能です。
- CDを再生中に[1-4.CD1モードボタン]を押す度に1曲リピート⇒全曲リピート⇒リピート解除が切り替わります。



安全にご使用いただくために

本製品は安全に十分配慮して設計されておりますが、間違った扱い方をすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります。事故を防ぐために、次のことを必ずお守りください。

- 警告** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
- 注意** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

- 【記号の意味】
- △ の記号は「注意(警告を含む)をうながす事項」を示します。
 - ⊘ の記号は「してはいけない行為(禁止事項)」を示します。
 - の記号は「しなければならない行為」を示します。

警告

- 交流100V以外の電圧では使用しない
自動車、船舶などの直流電源には接続しないでください。火災・故障の原因になります。
- 海外では使用しない
海外で異なった電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。
- 電源コードをコンセントから抜く
雷が近づいたら電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電源コードを傷つけない
コードが破損し、火災・感電の原因になります。
- CDプレーヤーのピックアップレンズをのぞかない
レーザー光線が目にあたると、視力障害を起こすことがあります。
- 分解禁止
この機器を開けたり、改造しないでください。火災・故障の原因になります。
- 水ぬれ禁止
近くに水の入った花瓶などを置かないようにするとともに、水がかかるような場所では使わないこと。水などが中に入った場合、火災・感電の原因になります。
- お手入れの際は本体各部に直接水をかけない
ショート・感電の原因になります。
- 内部に小さな金属類(ヘアピンなど)や燃えやすいものを入れない
火災・感電の原因になります。
- ぬれ手禁止
ぬれた手で電源コードの抜き差しをしないでください。感電の恐れがあります。
- 本体の通風孔をふさがない
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災・故障の原因になる場合があります。
- 電源プラグは根元まで確実に差し込む
差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。傷んだプラグ、緩んだコンセントは使用しないでください。
- 本体が異常に熱い、煙が出る、焦げ臭い場合や、水や化学薬品がかかった場合は使用を止める
故障や事故防止のため、ただちに電源を切り、ケーブル類を外して点検修理を依頼してください。
- 点検・修理
万一、本体を落としたり、キャビネットを破損した場合は、点検修理を依頼してください(有料)。そのまま使用すると火災等の原因になります。

注意

- ぐらついた台や傾いた場所に置かない
落下してケガ・故障の原因になります。
- 温度が異常に高い場所で使用しない
通風孔をふさぐと内部温度が上昇し、火災・故障の原因になることがあります。
- 調理台や加湿器の付近など湿気やほこりの多い場所に置かない
火災・感電・故障の原因になることがあります。
- 駐車中の自動車内等、高温になる場所で保管しない
樹脂部品が変形する原因になります。
- 電源コードをコンセントから抜く
長時間ご使用にならない場合は、安全と節電のために必ず電源コードをコンセントから抜いてください。
- 電源コードを接続した状態で移動しない
コードが傷つき火災や感電の原因になります。また、引っかけてケガの原因になります。
- お手入れは柔らかい布か、強く絞った布で拭く
化学薬品は、絶対に使わないでください。本体が変形したり、火災・感電の原因になります。
- 電源を切る前には音量を下げる
液晶ディスプレイが割れたり、傷つくことがあります。けがや故障の原因になります。

使用上の注意

本機の取扱いについて

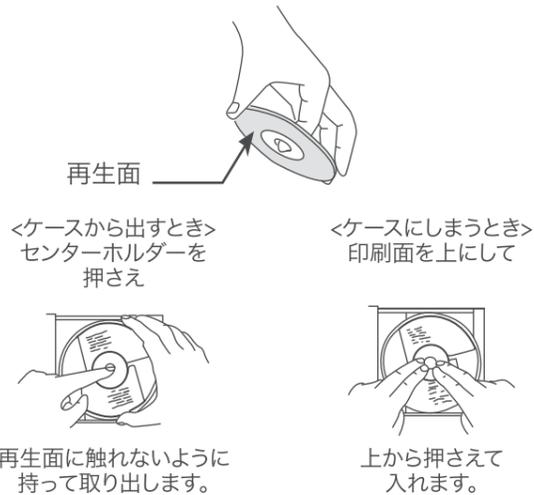
- 極端な湿度、日差しが強い場所には放置しないでください。
- 窓を閉めきった自動車内での放置はしないでください。

結露について

本機は冷え切った状態のまま暖かい室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりしますと、動作部に露が生じ（結露）、本機の性能が発揮できなくなることがあります。このような場合は、1時間ほど放置するか、徐々に室温を上げてから使用してください。

ディスク取扱い上のご注意

- ディスクの取扱い方
 - ・再生面には手をふれないでください。



- ディスクの保管の仕方
 - ・ 直射日光の当たる場所や、温度の高い場所、湿気やほこりの多い場所には保管しないでください。
 - ・ ディスクは必ずケースに入れて保管してください。
- 本機を持ち運びするときは
 - ・ ディスクを必ず取出してください。入れたまま持ち運びすると、ディスクに傷をつけたり、故障の原因になります。

ディスク使用上の注意

- シンナーやベンジン、アナログ式レコード盤用クリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください、ディスクを痛める原因となります。
- 再生面はもちろん、ラベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。
- ひびやそりのあるディスクは絶対に使用しないでください。



- ディスクに下記のマークの入ったものをご使用ください。



ハート形や八角形などの特殊形状のディスクは使用しないでください。故障の原因となります。



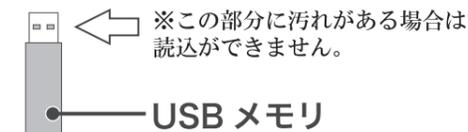
- 再生中、ディスクはプレーヤー内で高速で回転しています。ひび割れや変形したディスク、またはテープや接着剤で補修したディスクなどは危険ですから、絶対に使用しないでください。
- CD-R/CD-RW に記録されたディスクの再生は、記録状態により再生できない場合があります。
- コピーガード付きのディスクは、再生できない場合があります

USBメモリー/SDカード

本機録音に使用する場合はUSBメモリーまたはSDカードは必ず「新しいメディア」をご使用ください。他の録音機器での録音したものや既にデータが入っているものを使用した場合に互換性の問題で録音されない場合またはデータ破損の恐れがあります。その場合は保証対象外になりますので十分注意してください。

- 4GB ~ 16GB (約4分計算で約1000曲録音可能)

※録音時はロックをOFFにしないと録音はできません。



カセットテープ



- 機器に入れる前に、テープをチェックしてください。ゆるんでいるとトラブルの原因になりますので、片方の穴に鉛筆などを入れ方向にしたがって軽く巻いて、ゆるみをなくしてから使用してください。
- 使用するテープは、C-30、C-45、C-60タイプをご使用ください。C-90、C-120タイプはテープが薄く、機器の安定性が悪いので、ご使用にならないでください。※ノーマルテープのみをご使用ください。

各音源からUSB/SDへの録音方法

※録音用のUSBメモリー/SDカードは本機で使用する新しい物をご用意下さい。他の機器で使用するデータが残っている場合は音楽ファイルであっても互換性により再生や録音ができない場合があります。必ずパソコンでフォーマットをしてからご使用下さい。

パート1：録音用SDカードのセット

- ① [3.電源/音量ダイヤル]を押し電源オンにします。※ディスプレイが青く光り「HELLO」が表示
- ② 画面下段「--- bUSy」表示消灯後「4.機能切替ボタン」を数回押して「CARD」機能に切り替える。
- ③ 「NO」表示後[14.SDカードスロット]にSDカードを挿し込みます。※「CARD」表示が点滅。
- ④ 「001」が表示され音楽が自動で鳴った場合は[1-3 CD1再生/停止ボタン]を押し音楽を停止します。「NOF」は空の表示ですのでそのまま使えます。

パート2：録音用USBのセット

- ⑤ [3.電源/音量ダイヤル]を押し電源オンにします。※ディスプレイが青く光り「HELLO」が表示
- ⑥ 画面下段「--- bUSy」表示消灯後「4.機能切替ボタン」を数回押して「USB」機能に切り替える。
- ⑦ 「NO」表示後[18.USBポート]にUSBメモリーを挿し込みます。※「USB」表示が点滅。
- ⑧ 「001」が表示され音楽が自動で鳴った場合は[1-3 CD1再生/停止ボタン]を押し音楽を停止します。「NOF」は空の表示ですのでそのまま使えます。

パート3：各機能への切替えと録音操作

※上記パート1、2でUSB/SDをセットした状態での操作です。

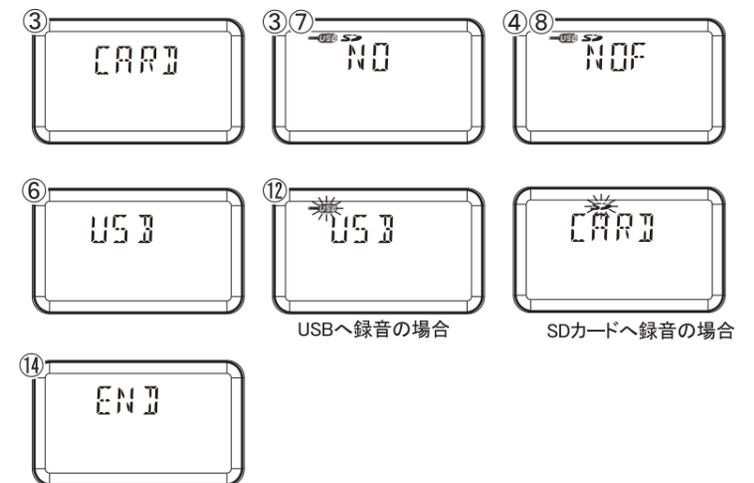
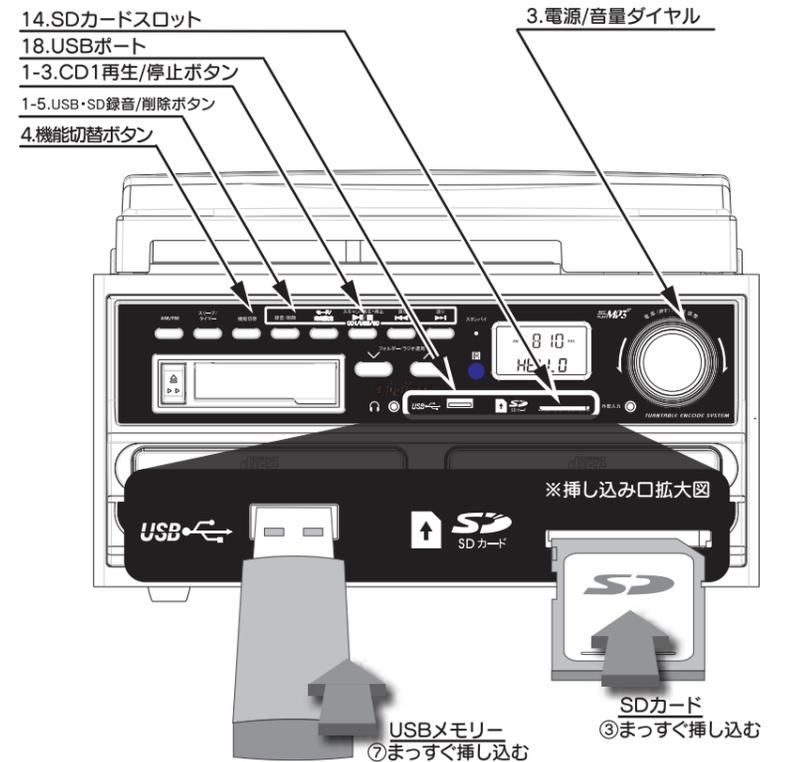
- ⑨ [4.機能切替ボタン]を押し録音する音源に切替えます。
- ⑩ 各機能の使用法のページを参照し再生の準備をします。

※録音する音を鳴らしながらUSB/SDに記録するため以降の操作は各音源機能のまま行って下さい。

- ⑪ [1-5.USB・SD録音/削除ボタン]を短く押す。※「USB」表示または「SD」表示が点滅
- ⑫ 約2秒で「USB」表示または「SD」表示が点灯しUSBマーク またはSDマーク が点滅すると録音が始まります。※CD1から録音する場合CD1の再生、停止状態にかかわらず録音開始と同時にCD1が再生され録音されますので次の⑬の操作は不要です。
- ⑬ 録音がスタートしたら各音源を再生して下さい。
- ⑭ 録音が終了したら[1-5.USB・SD録音/削除ボタン]を押します。※「END」表示後消灯

※レコード/カセットテープ/AM・FMラジオ/外部入力からUSB/SDへの録音の場合、自動曲番機能は使用できません。1曲ずつ分けて録音する場合は1曲毎にUSB/SDの録音を止め、改めて録音を開始して下さい。録音済の曲は上書きされず残ります。新しく録音した曲は最後に収録されます。

※USB⇄SD間のデータコピー、録音はできません。



※録音に失敗した場合は説明書18ページ「USB/SDの使用法」を参照して失敗したトラックを消去して下さい。

曲番入り機能について

- 本機の録音機能はCD1からUSB/SDへの録音を除き「鳴っている音をそのまま録音する」という仕組みです。従って録音中に何も処理をしない場合は全ての音楽、音がひと続きで録音されます。
- 本機ではCD2でのCD-R/RWへの録音時に限り、手動または自動で曲番を付ける(曲を分ける)事が可能です。

自動曲番機能

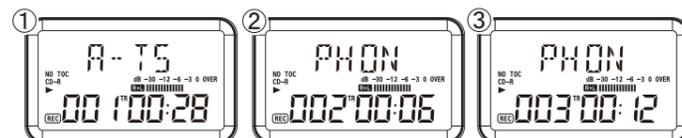
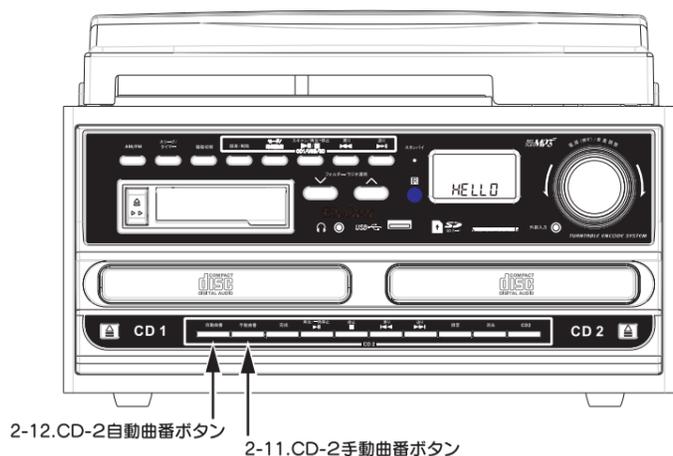
曲と曲の間、音が鳴っていない状態に反応して録音中のCD-R/RWに曲番を付ける(トラックを分ける)機能です。この仕組みにより音源の状態によっては正しい位置で曲番が付かない場合があります。

例1)曲と曲の間が短い、クロスフェードやSE(効果音)によりトラックが繋がっている、収録されている音量が小さい、レコードやカセットテープなど保存状態により曲間にノイズが入る等

…このような場合は曲番が付きません。任意のタイミングで[2-11.CD2手動曲番ボタン]を押してください。

例2)曲の途中で意図的な中断(ブレイク)がある、オーケストラの楽曲など意図的に音量を弱くする箇所がある、人の会話や落語など所どころ無音の箇所がある。

…このような場合は曲の途中やトラックの途中など意図しない場所で曲番が付いて(トラックが分かれて)しまいます。**自動曲番機能を解除して**任意のタイミングで[2-11.CD2手動曲番ボタン]を押してください。



手動曲番機能

音源の状態や自動曲番機能設定の有無にかかわらずボタンを押した任意のタイミングで曲番が付けられる(トラックが分けられる)機能です。

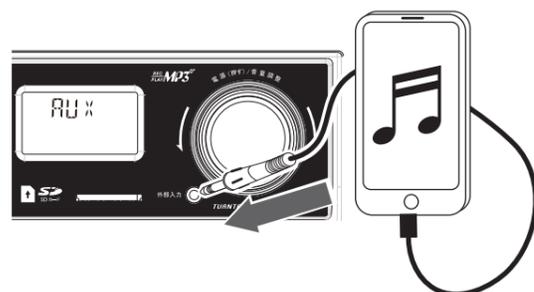
- 録音開始後1曲目が終わる前に[2-12.CD2自動曲番ボタン]を押してください。
※液晶画面上段に「A-TS」の表示を確認してください。
- 1曲終わる毎に液晶画面下段、CD-2表示中の曲数表示が増えていきます。

- 録音中に[2-11.CD-2手動曲番ボタン]を押してください。
※液晶画面下段、CD-2表示中の曲数表示が増えます。

外部入力(AUX)の接続方法

- [3.電源/音量ダイヤル]を押し電源オンにします。
※ディスプレイが青く光り「HELLO」が表示
- 画面下段「--- bUsy」表示消灯後「4.機能切替ボタン」を数回押し「AUX」機能に切り替える。※ディスプレイに「AUX」表示。
- スマートフォン、ラジカセ等外部再生機器を対応するケーブルで接続し再生します。

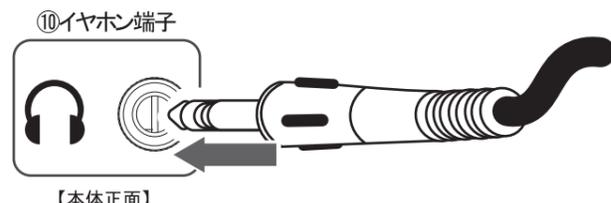
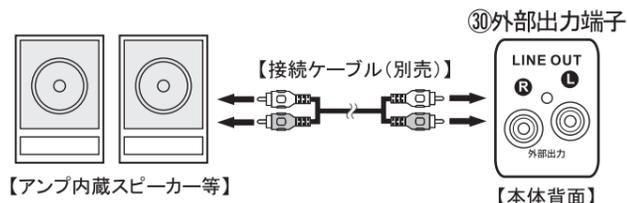
※必ず再生機器の音量を0にして接続して下さい。音量が大きのまま接続再生すると本機が故障する恐れがあります。



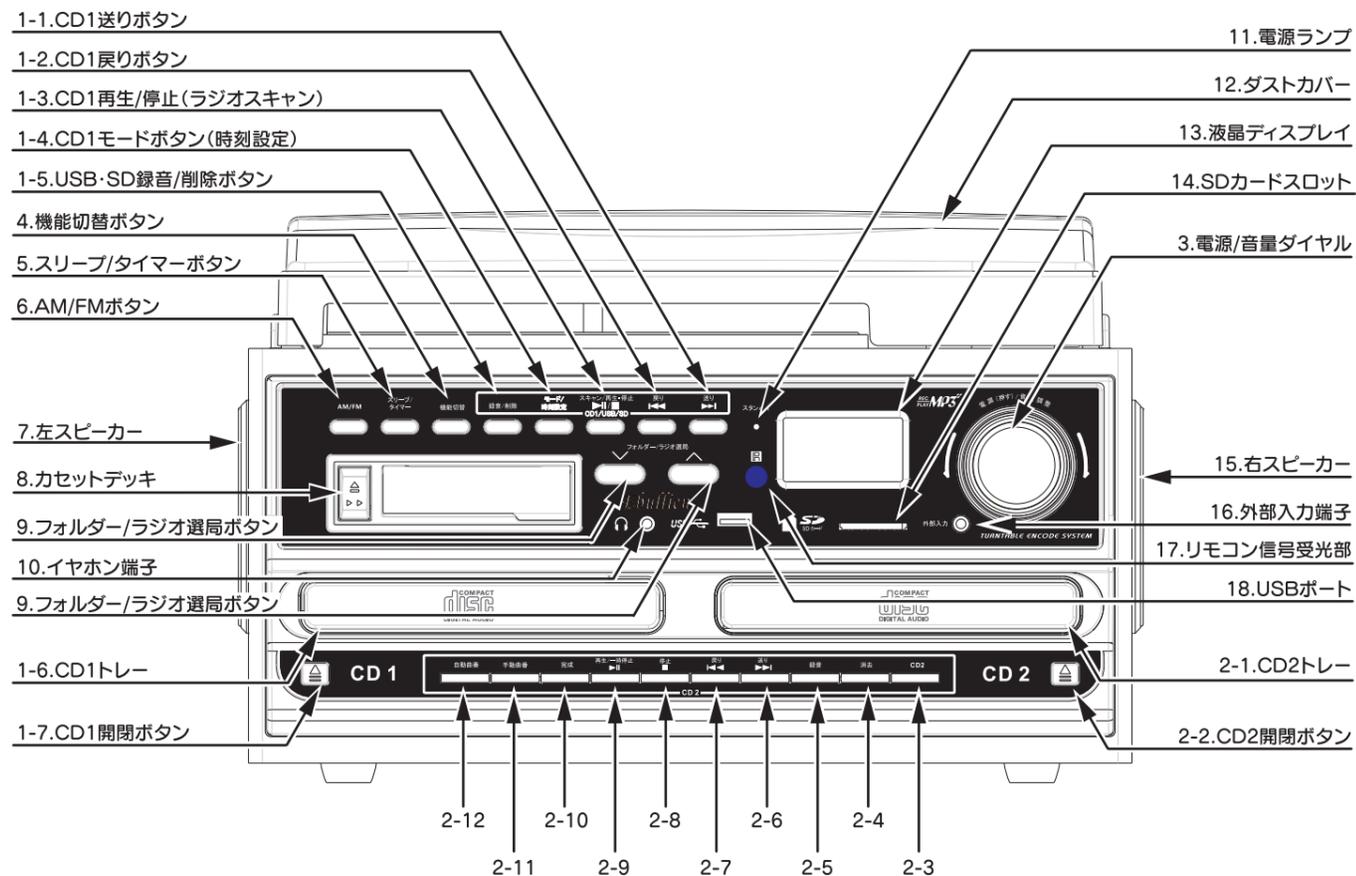
出力機能の接続・使用方法

- ⑩外部出力端子: 本機の外部出力端子はRCAピンジャックです。接続の際は別途ケーブルをお買い求めください。
- 他のスピーカーを使用する場合はオーディオアンプもしくはアンプ内蔵スピーカーが必要です。スピーカーを直接接続しても音は出ませんのでご注意下さい。

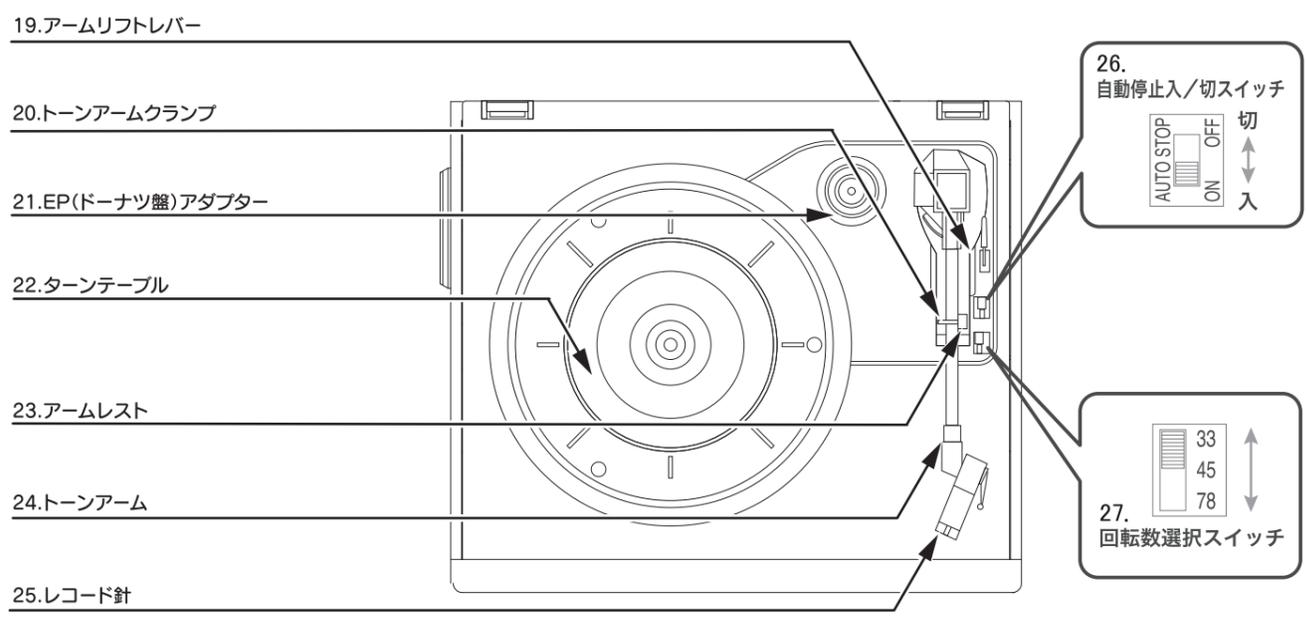
- ⑩イヤホン端子: 本機のイヤホン端子はステレオミニジャックです。イヤホン、ヘッドホンをご使用の際はステレオミニジャックタイプの物をご使用下さい。
- 片耳タイプのモノラルイヤホンは正しく音が出ません。



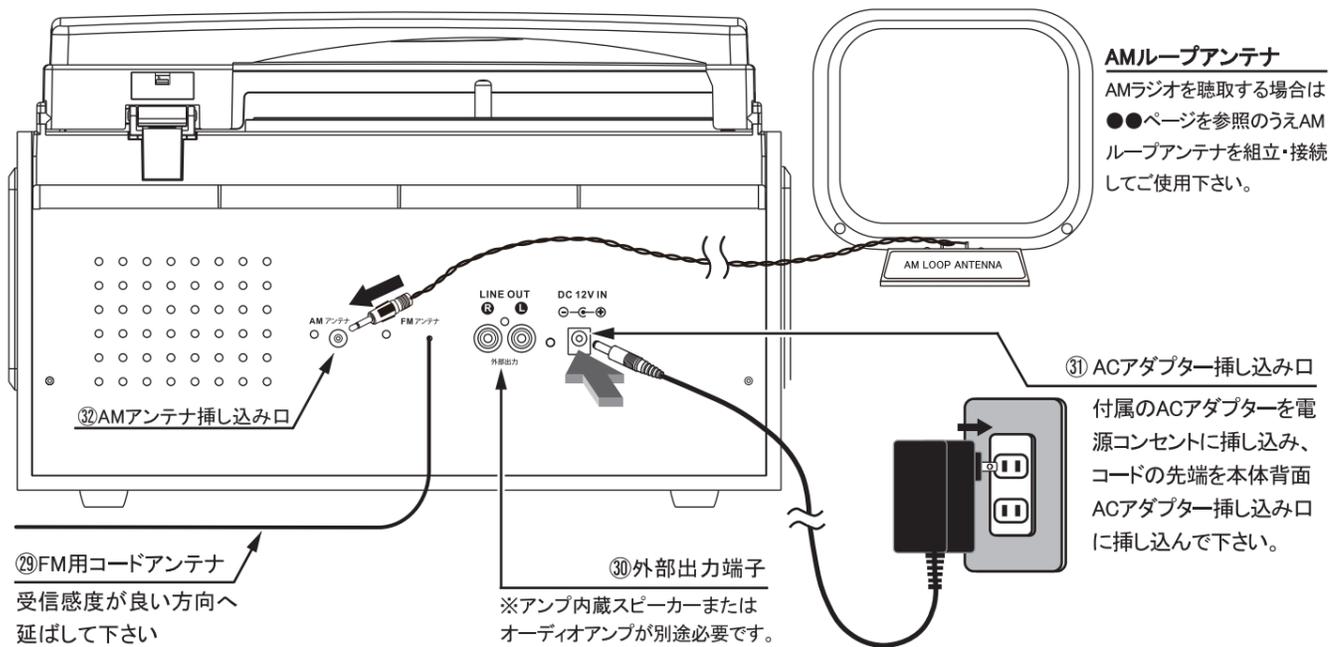
本体各部の名称



CD2 ボタングループ	2-9.CD2再生/一時停止ボタン	2-6.CD2送りボタン	2-3.CD2ボタン
	2-10.CD2完成ボタン	2-7.CD2戻りボタン	2-4.CD2消去ボタン
2-12.CD2自動曲番ボタン	2-11.CD2手動曲番ボタン	2-8.CD2停止ボタン	2-5.CD2録音ボタン



本体各部の名称 -2



CDの完成処理(ファイナライズ)方法

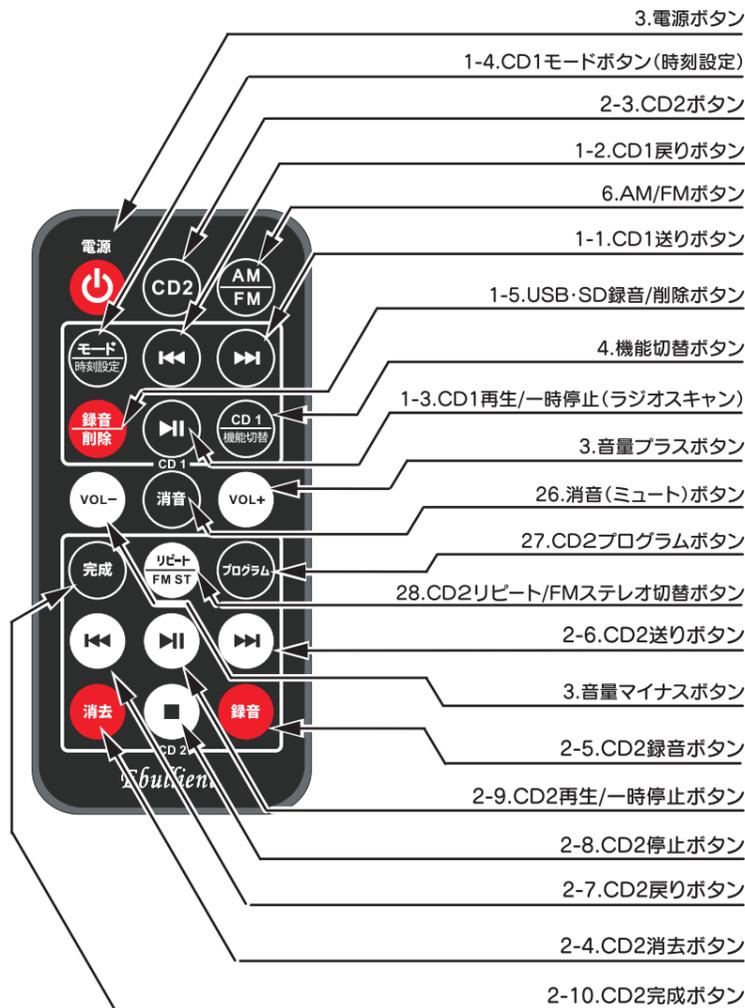
- CD2で録音したCD-R/RWはデータが記録されているだけの状態のため、本機のCD1や他のCDプレーヤーで再生する事ができません。
- 本機では録音済のCD-R/RWにTOC情報(Track Of Contents =トラック情報。CDプレーヤーが「何曲目がここからここまで」という内容を認識するための情報)を付け加える事で音楽CDとして再生可能になります。

- ① 14ページを参照しCD2に録音済のCD-RWをセットします。
- ② 液晶ディスプレイ下段に収録曲数と収録時間が表示されます
※ 画面の左端に「NO TOC」表示がある場合⇒③へ
「NO TOC」表示がない場合は完成処理済のため作業不要です。
- ③ [2-10.CD2完成ボタン]を押すと完成処理をする「Fin-d」が表示
⇒[2-9.CD2再生/一時停止ボタン]で完成処理が開始されます。
※ 「---bUSy」が表示。
- ④ 2~3分程度で「OPEN」の表示とともにCD2トレイが自動で開けば完成処理は終了です。CD1や他のCDプレーヤーでお試し下さい。



- ※ CD-Rは一度完成処理を行うと完成処理の解除や追加録音が出来なくなりますのでご注意下さい。
- ※ CD-RWは完成処理の解除や消去・追加録音が可能です。(下記項目参照)

リモコンの各部名称 / 電池交換方法



■電池の交換方法

※電池交換はリモコンのボタン面を下に向けて交換作業を行って下さい。

- ① リモコンの裏面にあるタブを爪で⇒方向に押しながら(図1)図2の矢印方向に電池受けトレイを引き抜きます。
- ② ボタン電池「CR2025」のプラス面を上にして電池受けトレイにセットします。(図3)
- ③ 電池受けトレイを元に戻します。(図4)

※購入後初めてリモコンをお使いになるときは本体下についている透明なタブを引き抜いて下さい。
リモコンに内蔵されている電池が通電し、リモコンが使用できるようになります。

※本製品のリモコンで使用する電池の型番は「CR2025」です。お求めの際は型番をお間違えないようご注意下さい。

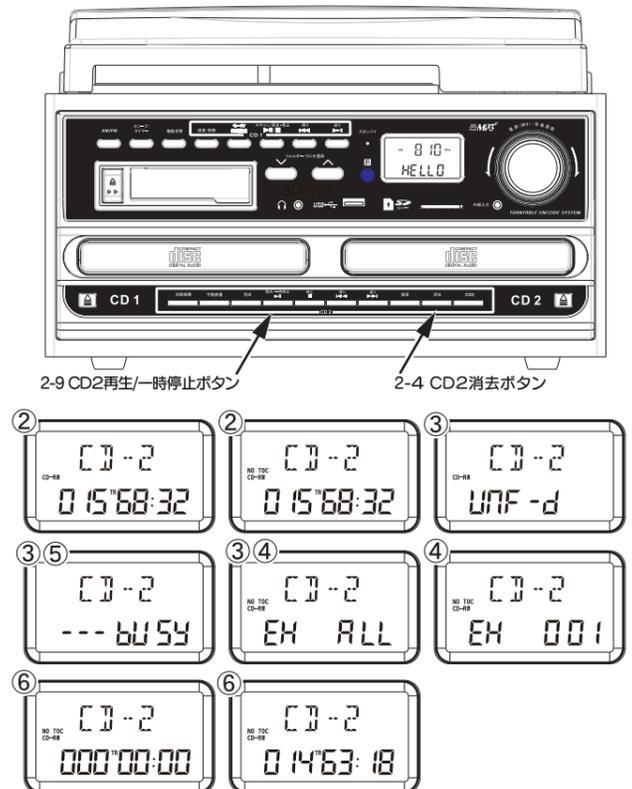
CD-RWの消去方法

- 本機で録音した「CD-RW」に限り内容を消去する事が可能です。
- CD-RWに収録した「全曲」または「最後の1曲」を消去する事が可能です。
- 完成処理(ファイナライズ)済のCD-RWも本機で「完成処理の解除」⇒「内容の消去」処理が可能です。

- ① 14ページを参照しCD2に録音済のCD-RWをセットします。
- ② 液晶ディスプレイ下段に収録曲数と収録時間が表示されます
※ 画面の左端に「NO TOC」表示がない場合は完成処理済⇒③へ
画面の左端に「NO TOC」表示がある場合は未完成処理⇒④へ
- ③ [2-4.CD2消去ボタン]を押す度に完成処理を解除する「UNF-d」と完成処理解除と同時に全曲を消去する「EH ALL」が交互に表示⇒[2-9.CD2再生/一時停止ボタン]で以下の処理がされます
・「UNF-d」⇒完成処理解除のみ。全曲が残り追加録音可能。
・「EH ALL」⇒完成処理が解除され同時に全曲削除。
処理中「---bUSy」表示⇒その後曲数と時間の表示に戻ります。
※ 画面の左端に「NO TOC」表示がある事を確認⇒④へ
- ④ [2-4.CD2消去ボタン]を押すと全曲削除の「EH ALL」が表示⇒再度[2-4.CD2消去ボタン]を押すと最後の1曲削除の「EH 001」が表示されます。
- ⑤ 全曲削除もしくは1曲削除が表示された状態で[2-9.CD2再生/一時停止ボタン]を押す⇒曲の削除が開始され「---bUSy」が表示。
- ⑥ 削除処理が完了すると全曲削除の場合は全て「0」の表示、1曲削除の場合は1曲分減った曲数と時間が表示されます。

以上の処理が完了すると新規または追加録音が可能になります。

※「EH 001」で1曲のみ削除する場合は一番最後に収録されている曲が削除されます。途中の曲を選んで削除する事はできません。



各音源からCDへの録音方法

ご注意 CDのデータはCD-RWのみ消去が可能です。CD-Rは一度記録したデータは消去できません。録音作業に慣れるまではCD-RWでお試し頂くことをお勧めします。

パート1：録音用CD-R/RWのセット

- [3.電源/音量ダイヤル]を押し電源オンにします。
※ディスプレイが青く光り「HELLO」が表示
- 「HELLO」から変わった「--- bUSy」表示が消えた事を確認し[2-3 CD2ボタン]を押す。
- 上段「CD-2」、下段「--- bUSy」→「n0 dISC」の状態を確認し[2-2 CD2開閉ボタン]を押す。
※右側CD2トレイが手前に開き「OPEN」が表示
- CD-R/RWの向き(印刷面が上、記録面が下)を確認しトレイにCD-R/RWを置く。
- [2-2 CD2開閉ボタン]を押しCD2トレイを閉じる。
※CD2トレイが閉じ「--- bUSy」が表示
- 画面下段に「000 00:00」が表示されればCD-R/CD-RWのセット完了です。

※以下の表示の場合、録音には使用出来ませんので別のCD-R/RWでお試し下さい。

- 「n0 dISC」… 読取・認識が出来ないディスクです。
- 「dISC Errr」… DVD、ブルーレイ、フォーマット済ディスクの可能性が有ります。
- 「001 00:30」… (曲数と時間の表示)使用済ディスクです。

パート2：各機能への切替えと録音操作

- ※上記パート1でCD-R/RWをセットした状態での操作です。
- [4.機能切替ボタン]を押し録音する音源に切替えます。
 - 各機能の使用方法的ページを参照し再生の準備をします。

※録音する音を鳴らしながらCD-R/RWに記録するため以降の操作は各音源機能のまま行って下さい。

⑨レコード/カセットテープ/外部入力の録音の場合

- [2-5 CD2録音ボタン]を押す。
※曲番001が点滅→約2秒で00:01、02、03とカウンターが動き始め録音がスタートします。
録音がスタートしたら各音源を再生してください。

⑩CD1からCD-R/RWへの録音の場合

- ⑩-1 CD1にCDをセットすると自動で再生が始まります。必ず[1-3.CD1再生/一時停止ボタン]を長押ししてCD1を完全停止の状態にしてください。

※1曲のみ録音する場合は完全停止後[1-1.CD1送り][1-2.CD1戻り]ボタンで該当曲を呼び出してください。

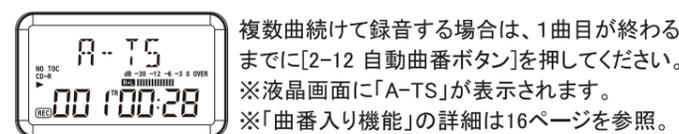
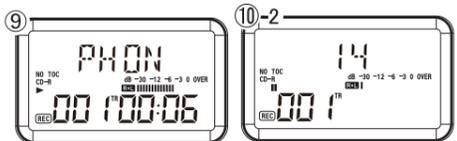
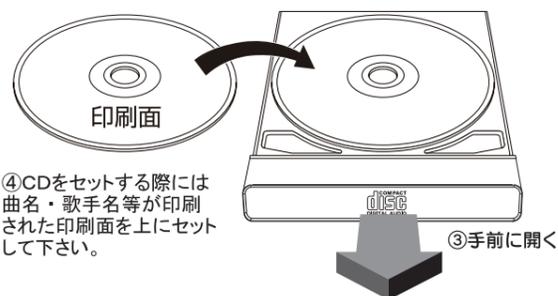
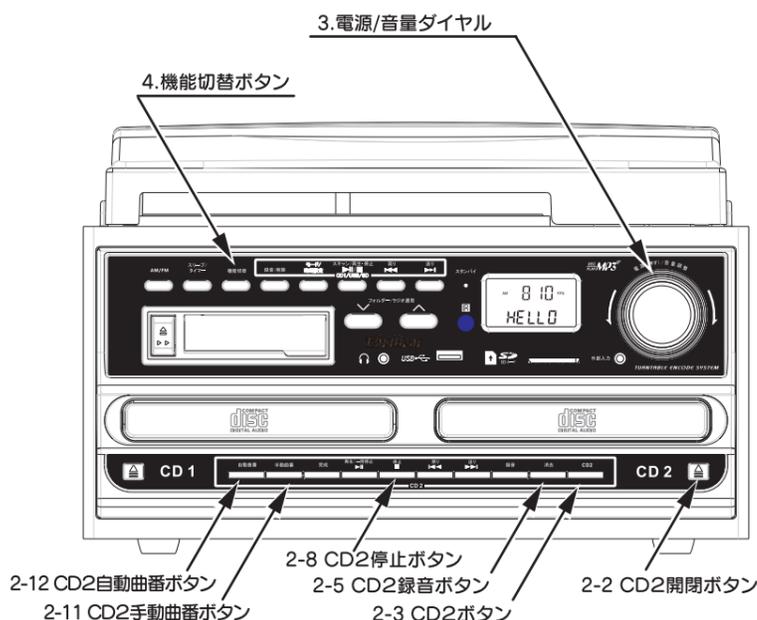
- ⑩-2 [2-5 CD2録音ボタン]を押す。
※RECマーク点滅の一時停止状態で録音はスタートしません

- ⑩-3 [1-3. CD1再生/一時停止ボタン]を押す。
※CD1再生と同時に録音がスタートします。

- ⑪ 録音が終了したら[2-8 CD2停止ボタン]を押します。

■上記で仮録音が終了した状態です。本機CD2での再生は可能ですが、他のプレーヤーや本機CD1では再生できません。他のプレーヤーまたは本機CD1で再生するためには「完成処理(ファイナライズ)」が必要です。詳細はP15を参照して下さい。

※AM・FMラジオ/USB/SDからCD-R/RWへの録音はできません。



仕様

製品共通	定格入力	AC100V 50/60Hz
	消費電力	26W
	最大外形寸法(約)	幅: 305 × 奥: 280 × 高: 220mm (閉蓋時) 幅: 305 × 奥: 280 × 高: 400mm (開蓋時)
	本体質量(約)	4.7kg
	電源コード長(約)	1600mm
	製品材質	MDF合板、ABS樹脂
スピーカー	インピーダンス	4Ω
	実用最大出力	3W + 3W
AM / FM ラジオ	受信可能周波数	AM: 522~1629kHz FM: 76~108MHz
レコードプレーヤー	回転数	33 / 45 / 78 回転 / 分
	レコード針材質	サファイア (交換目安: 約100時間)
カセットプレーヤー	対応テープ形式	ノーマルポジション ※60分以内
CDプレーヤー	再生対応ディスク	CD、CD-R/RW
	再生対応ファイルフォーマット	AUDIO CD (CD-DA)
SD プレーヤー	ディスク容量	4GB~16GB
	再生対応ファイルフォーマット	MP3 (64~320kbps)
USB レコーダー	ディスク容量	4GB~16GB
	録音フォーマット	MP3 (128kbps)

※CD-R、CD-RW、SD、SDHCカードおよびUSBメモリーに記録されたディスクの再生はディスクの品質、記録状態、録音環境により再生できない場合があります。※本機のUSB端子は「USB3.1」には対応していません。※USB/SDが認識されない場合、パソコンでフォーマット(初期化)を行ってください。※CD規格外ディスクの動作保証および性能保証はいたしません。※製品の仕様は性能向上等の理由から予告無く変更する場合がございます。

■USBメモリー/SDカードについてのご注意 ・USBメモリーまたはSDカードは本機用に新しいメディアでご使用ください。他の機器またはパソコン等での音楽データや写真データがある場合には互換性で録音がうまくできない場合やデータの損傷になる恐れがあります。必ずご確認の上ご使用ください。・録音推奨 16GB (約4分計算で約1000曲の録音可能) ※本機ではタイトル等を入れることはできません。

時計機能の使い方

■本機は電源がOFFの状態の時計として常時表示が出ます。時間をセットすれば時計の他、タイマー機能やスリープ機能として活用できます。※コンセントを抜いた場合は全てリセットされますので全て設定し直してください。

時計の合わせ方

- 電源を切った状態(スタンバイランプ点灯)で[1-4.モード/時刻設定ボタン]を長押し→「24H」が表示
- 午後1時を「1:00」と表示する場合は「12H」を、「13:00」と表示する場合は「24H」を[1-1.CD1送りボタン]で選択
- [1-4.時刻設定ボタン]を押すと「0:00」の時の桁が点滅→[1-1.CD1送りボタン][1-2.CD1戻りボタン]で現在の時間に合わせる
- [1-4.時刻設定ボタン]を押すと分数の桁が点滅するので同様に現在の分数に合わせて再度[1-4.時刻設定ボタン]を押せばセット完了です

スリープ機能の使い方

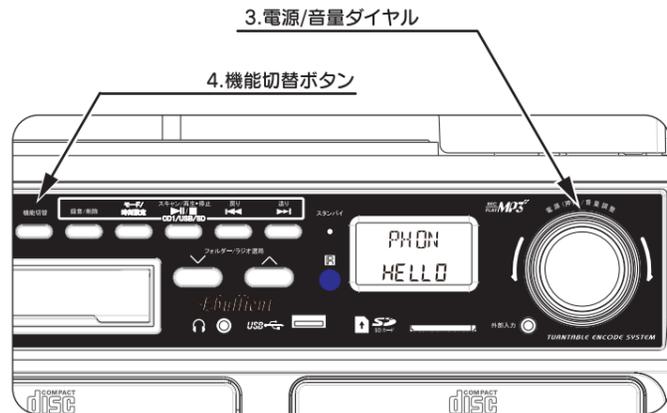
本機で音楽を再生中に[5.スリープ/タイマーボタン]を短く押す事で最長90分、10分刻みで自動的に電源が切れる時間を設定する事が可能です。

タイマー機能の使い方

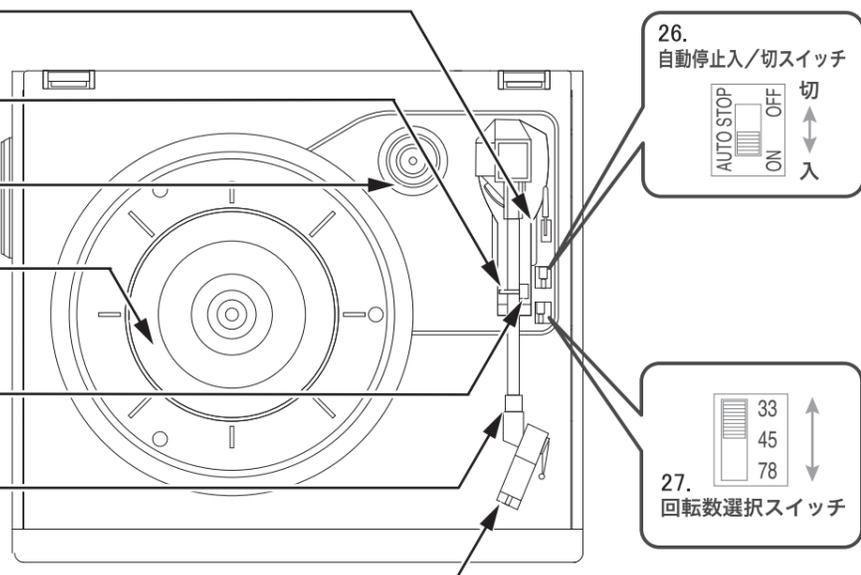
- 電源を切った状態(スタンバイランプ点灯)で[5.スリープ/タイマーボタン]を短押し→ON/OFFの切替え
- 電源を切った状態(スタンバイランプ点灯)で[5.スリープ/タイマーボタン]を長押し→ONの表示
- 自動再生が始まる時間を[1-1.CD1送りボタン][1-2.CD1戻りボタン]で合わせ[5.スリープ/タイマーボタン]を押す
- 同様に自動再生が始まる分数の桁を合わせ[5.スリープ/タイマーボタン]を押す
- 電源が切れる時間を[1-1.CD1送りボタン][1-2.CD1戻りボタン]で合わせ[5.スリープ/タイマーボタン]を押す
- 同様に電源が自動で切れる分数の桁を合わせ[5.スリープ/タイマーボタン]を押す
- タイマーで自動再生する音源を「TUNE」「CD1」「USB」「CARD」から[1-1.CD1送りボタン][1-2.CD1戻りボタン]で選択して[スリープ/タイマーボタン]を押す
- タイマーで自動再生する音量を[1-1.CD1送りボタン][1-2.CD1戻りボタン]で選択して[スリープ/タイマーボタン]を押す
※設定内容が順に表示され時計画面(スタンバイ)に戻ります
上記操作で時計画面に☺マーク表示があれば設定完了です

レコードプレイヤーの使い方

- [3.電源/音量ダイヤル]を押し電源オンにします。
※ディスプレイが青く光り「HELLO」が表示
- [4.機能切替ボタン]を数回押し「PHON」表示に切替えます。
- [22.ターンテーブル]にレコード盤をセットします。
※ドーナツ盤の場合は[21.EPアダプター]を先にセット
- [27.回転数選択スイッチ]でレコード盤に合う回転数に合わせます。
- [26.自動停止入/切スイッチ]でLP盤は「入」りに、ドーナツ盤は「切」に切替えます。
- [20.トーンアームクランプ]を右へ押し出しロックを外します。
- [19.アームリフトレバー]を奥へ倒すと[24.トーンアーム]が上がります。[25.レコード針]部分をレコード盤の外周の上まで移動し[19.アームリフトレバー]を手前に倒すと[25.レコード針]がゆっくり下がり演奏が始まります。
- 終了するには[19.アームリフトレバー]を奥に倒し[24.トーンアーム]を上げてから[23.アームレスト]に戻します。



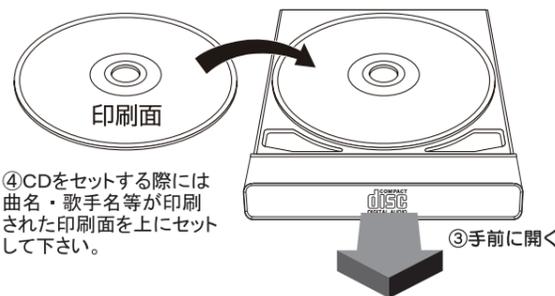
- 19.アームリフトレバー
- 20.トーンアームクランプ
- 21.EP(ドーナツ盤)アダプター
- 22.ターンテーブル
- 23.アームレスト
- 24.トーンアーム
- 25.レコード針



自動停止機能

本機ターンテーブル機能でLP盤(33回転)使用時のみA面またはB面の演奏が終了時に自動的にターンテーブルが停止します。※45/78回転のレコード盤には対応していません。その為、ターンテーブルが回りっぱなしになる為、45/78回転のレコード盤使用時には自動停止スイッチをOFFにして使用して下さい。

CD②プレイヤーの使い方



- [3.電源/音量ダイヤル]を押し電源オンにします。
※ディスプレイが青く光り「HELLO」が表示
- 「HELLO」から変わった「--- bUSy」表示が消えた事を確認し[2-3 CD2ボタン]を押す。
- 上段「CD-2」、下段「--- bUSy」⇒「nO dISC」の状態を確認し[2-2 CD2開閉ボタン]を押す。
※右側CD2トレイが手前に開き「OPEN」が表示
- CDの向き(印刷面が上、記録面が下)を確認しトレイにCD-R/RWを置く。
- [2-2 CD2開閉ボタン]を押しCD2トレイを閉じる。
※CD2トレイが閉じ「--- bUSy」が表示
- 画面下段に「015 74:32」(例)が表示されればCDのセット完了です。
- [2-9 CD2再生/一時停止ボタン]を押すと音楽が再生されます。
- 再生中以下の操作が可能です。
 - 先へ早聴き…[2-6.CD2送りボタン]を長押し
 - 次のトラックへスキップ…[2-6.CD2送りボタン]を短押し
 - 曲の最初へ早聴き…[2-7.CD2戻りボタン]を長押し
 - 曲の最初へスキップ…[2-7.CD2戻りボタン]を短押し
 - 前のトラックへスキップ…[2-7.CD2戻りボタン]を2回短押し
 - 曲の途中で一時停止、再開…[2-9.CD2再生/停止ボタン]を短押し

※ CDセット⇒「nO dISC」表示で再生できない場合は以下の原因が考えられます。対応する音楽CDをご使用下さい。

- DVD、ブルーレイ等の映像ディスクの誤挿入
- パソコン等でデータを記録したCD-RやCD-WRの誤挿入

- CDを完全に停止する場合は[2-8.CD2停止ボタン]を押します。

CD-2 リピート機能(リモコン操作)

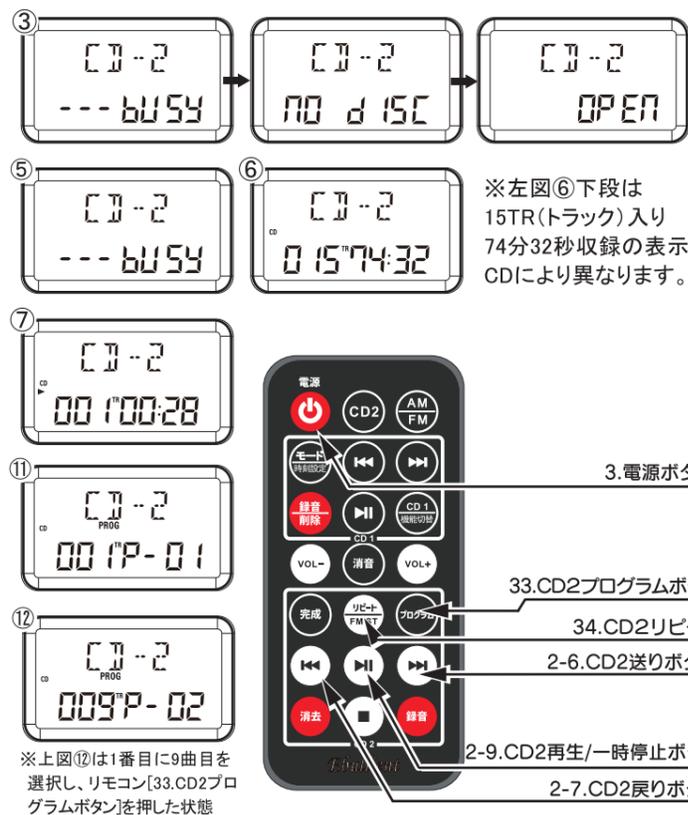
- CDを再生中にリモコンの[34.CD2リピートボタン]を押す度に全曲リピート⇒1曲リピート⇒リピート解除が切り替わります。



CD-2 プログラム機能(リモコン操作)

本機のCD-2プレイヤーでは予め再生する曲と順番を登録してプログラム再生する事が可能です。

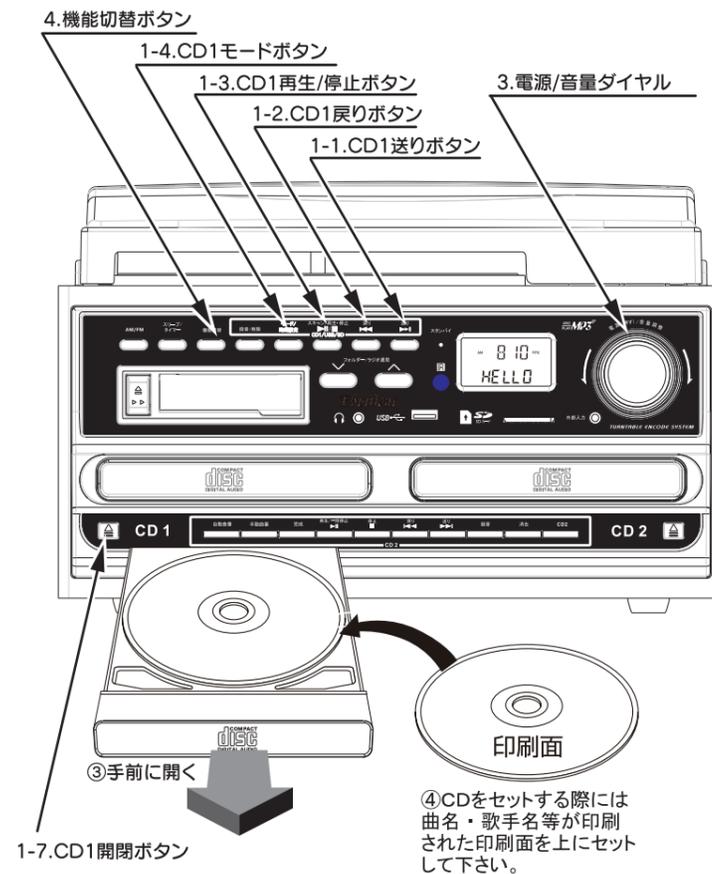
- CDを停止中にリモコン[33.CD2プログラムボタン]を押します ※上段「PROG」下段「001 P-01」が表示。
- [2-6 CD2送りボタン][2-7 CD2戻りボタン]で登録したい曲番を表示させ、リモコン[33.CD2プログラムボタン]を押します。 ※下段右が「P-02」に変化
- 上記⑫の操作を繰り返し[2-9 CD2再生/一時停止ボタン]を押すと、プログラムした順番で曲が再生されます。 ※最大32曲プログラム可能



※上図⑩は1番目に9曲目を選択し、リモコン[33.CD2プログラムボタン]を押した状態

CD①プレーヤーの使い方

- ① [3.電源/音量ダイヤル]を押し電源オンにします。
※ディスプレイが青く光り「HELLO」が表示
- ② 「HELLO」から変わった「--- bUsy」表示が消えた事を確認後[4.機能切替ボタン]を数回押し「CD-1」を選択
- ③ 上段「CD-1」⇒「---」の点滅⇒「NO」表示に切り変わった事を確認し[1-7 CD1開閉ボタン]を押す
※「OPEN」が表示され1-6.CD1トレーが手前に開きます
※CDが入っている場合は曲数が表示され、自動で再生されます。[1-3CD再生/停止ボタン]を押し再生を止めてから[1-7 CD1開閉ボタン]でトレーを開けCDを入れ替えて下さい
- ④ CDの向き(印刷面が上、記録面が下)を確認しトレーにCDを置く。
- ⑤ [1-7.CD1開閉ボタン]を押しCD1トレーを閉じる。
※CD1トレーが閉じ「CL」⇒「---」⇒曲数が表示
- ⑥ 自動で音楽が再生され曲番「01」⇒再生時間「0:05」が交互に表示されます。
- ⑦ 再生中以下の操作が可能です。
 - 先へ早聴き…[1-1.CD1送りボタン]を長押し
 - 次のトラックへスキップ…[1-1.CD1送りボタン]を短押し
 - 曲の最初へ早聴き…[1-2.CD1戻りボタン]を長押し
 - 曲の最初へスキップ…[1-2.CD1戻りボタン]を短押し
 - 前のトラックへスキップ…[1-2.CD1戻りボタン]を2回短押し
 - 曲の途中で一時停止、再開…[1-3.CD1再生/停止ボタン]を短押し



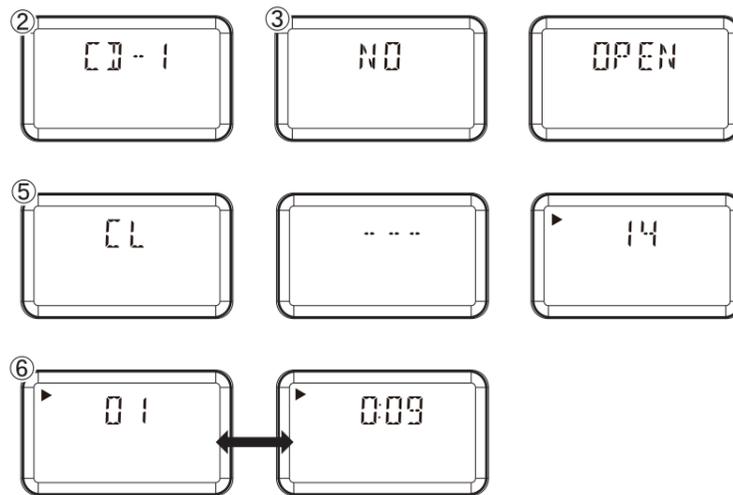
※ CDセット⇒「NO」表示で再生できない場合は以下の原因が考えられます。対応する音楽CDに替えてご使用下さい。
 ■DVD、ブルーレイ等の映像ディスクの誤挿入
 ■パソコン等でデータを記録したCD-RやCD-WRの誤挿入
 ■本機CD2で録音したCD-RやCD-RWをファイナライズ(完成処理)処理せずに誤って挿入した⇒P15参照

- ⑧CDを完全に停止する場合は[1-3.CD1再生/停止ボタン]を長押しします。

CD-1 便利な機能

本機のCD-1プレーヤーでは再生中の1曲、または全曲を繰り返し再生するリピート機能が使用可能です。

- ⑨CDを再生中に[1-4.CD1モードボタン]を押す度に1曲リピート⇒全曲リピート⇒リピート解除が切り替わります。



自動停止スイッチ / 45 回転用アダプターについて



注意

LP 盤の使用にはレコード自動停止スイッチ「ON」側にして下さい。演奏が終了するとターンテーブルは自動で止まります。EP 盤 / SP 盤の場合は機能上、途中でレコードが止まる場合がありますので、自動停止スイッチを「OFF」側にして下さい。「OFF」にするとターンテーブルは停止しません。回りっぱなしになりますのでアームをアームレストに戻して下さい。
 ※EP 盤 (ドーナツ盤) 使用時には先に付属の 45 回転用アダプターをセットしてからレコード盤をのせます。



レコード針について

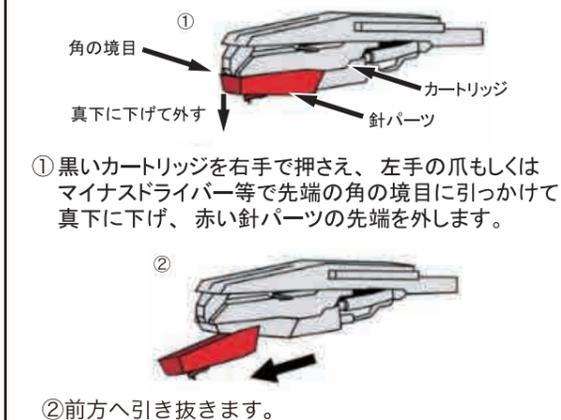
針のお手入れ

柔らかいブラシ、筆などで針先に付いたホコリやゴミを取り除いてください。指先で行うと針先を破損する原因となります。

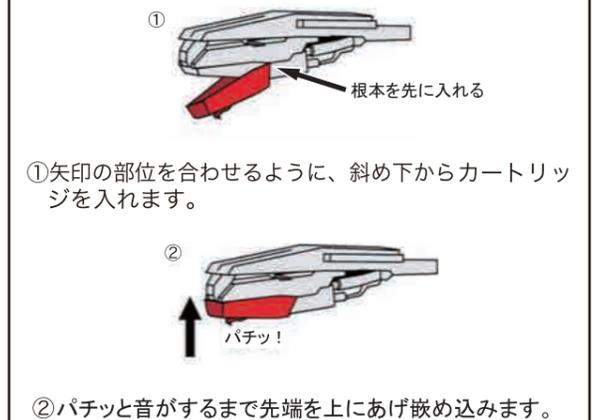
針の交換

レコード針は長時間の使用により摩耗します。その様な状態で再生すると、針飛び等が起こりレコード盤を傷付ける等の問題が発生する場合がございます。本製品の場合、約100時間を目安に針を交換してください。 ※使用条件によってはこれよりも短くなります。

針の抜き方



針の入れ方



交換用針のお買い求め

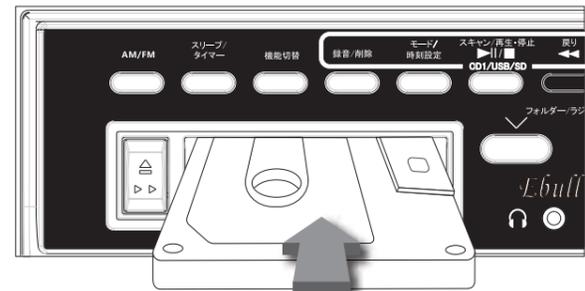
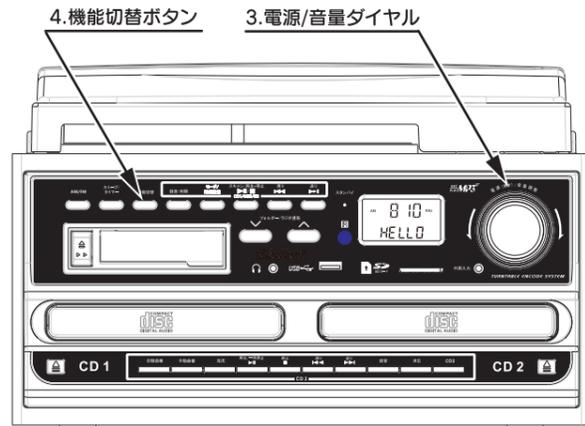
破損や長期使用における経年劣化、紛失等の理由でレコード針をお求めのお客様のために「交換用レコード針」を販売しております。お求めの際は下記までお問合せください。

【直販サイト】<https://recordplayer-tohshoh.shop/>
 価格(3個組セット):3600円(税抜・送料別)
 品番:TO-106

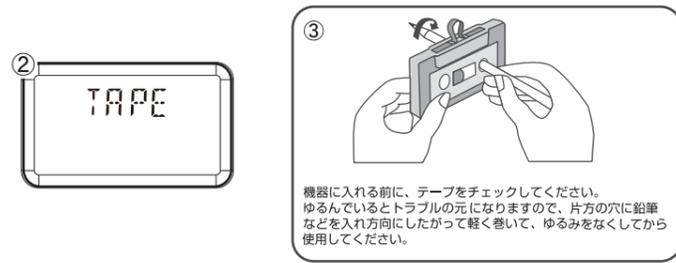
カセットプレーヤーの使い方 (再生専用)

- 本機のカセットデッキは再生専用です。
- 本機のカセットデッキは巻戻し機能がありません。一度カセットを取り出しA⇄Bを入替えて早送りをして下さい。
- 本機のカセットデッキの性能はNORMAL(TYPE I)準拠です。ハイポジ(TYPE II)/Fe-Cr(TYPE III)/メタル(TYPE IV)のテープは再生可能ですが、音質やその他性能は発揮されずTYPE I準拠の再生となります。

- ① [3.電源/音量ダイヤル]を押し電源オンにします。
※ディスプレイが青く光り「HELLO」が表示
- ② [4.機能切替ボタン]を数回押し「TAPE」表示に切替ます。
- ③ カセットテープのたるみを巻取り、テープが露出した部分を右、テープが巻かれたリールを手前にセットします。
- ④ カセットを挿入口の奥まで挿し込むとカセットが水平に収まり自動的に再生が始まります。
- ⑤ 片面の再生が終わったら[カセット取出し/早送りボタン]を平らになるまで押し込みカセットを手で抜き取ります。
※テープが途中の場合は[カセット取出し/早送りボタン]を半分まで押しテープを最後まで送ります。
- ⑥ 上記③～④の要領で反対面を再生します。
- ⑦ 再生を終了する場合はテープを抜いたままにして下さい。



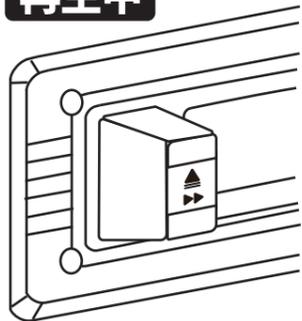
④ 手前の穴にテープが巻かれた状態で少し斜め上に奥まで挿し込みます



③ 機器に入れる前に、テープをチェックしてください。ゆるんでいるとトラブルの原因になりますので、片方の穴に鉛筆などを入れ方向にしたがって軽く巻いて、ゆるみをなくしてから使用してください。

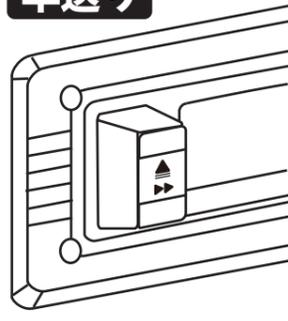
⑤カセット取出し/早送りボタンについて

再生中



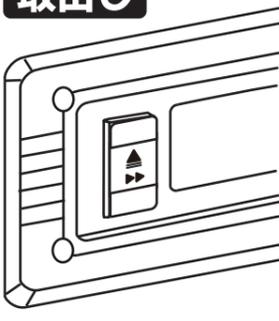
- カセットテープを挿入すると入れ違いに取出しボタンが2cm程度飛び出します。

早送り



- 再生中にボタンを軽く1cm程度押し離すとボタンが1cm程度出た状態で止まり早送り状態になります(無音)再度軽く押しボタンが戻り再生が再開します。

取出し



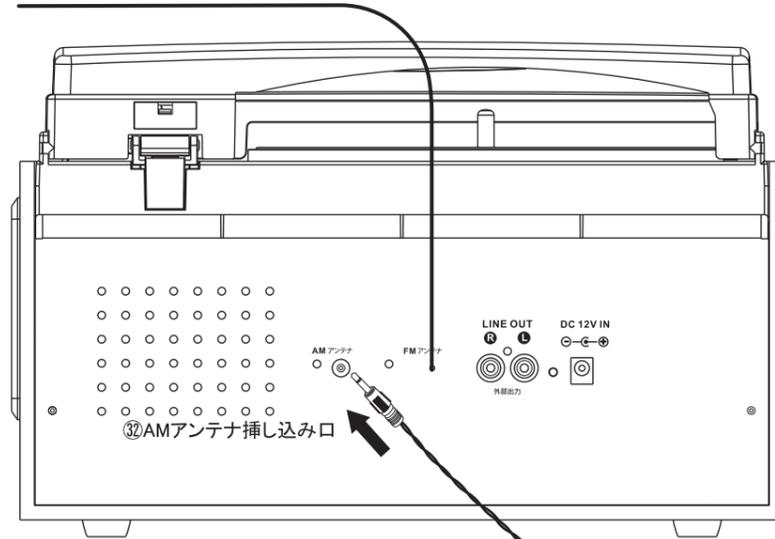
- 再生中にボタンを強く奥まで押し込むと入れ違いにカセットテープが1/3程度飛び出しますので手で引き抜いて下さい。本機のカセットデッキに停止ボタンはありません。カセットを取出す事で再生を停止します。

注意 収録時間の長いテープ(90分、120分など)はテープ自体が薄く、劣化などの影響によりデッキ内部に絡まりやすく故障の原因となります。60分までのテープをご使用下さい。

ラジオの使い方

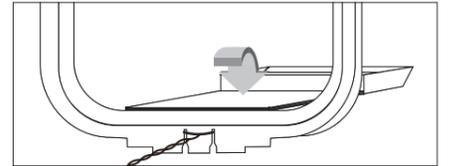
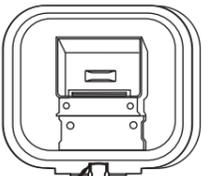
- 準備** 本機のラジオ受信アンテナは本体背面から出ているFMコードと、付属品のAMループアンテナの2種類を使用します。下図を参照して準備して下さい。

② FM用コードアンテナ 受信感度が良い方向へ伸ばして下さい

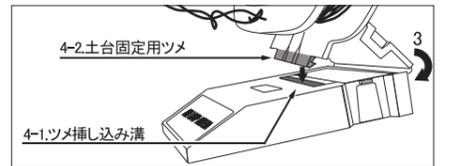


ループアンテナの組立てかた

1.背面を手前に(文字のない面)



2.土台部品を根本から90度奥へ倒す



3.土台部品の箱状の部分を手前に折り返す

4.折り返した箱部分の挿し込み溝(4-1)に固定用ツメ(4-2)をバッチというまで挿し込む

AMループアンテナ

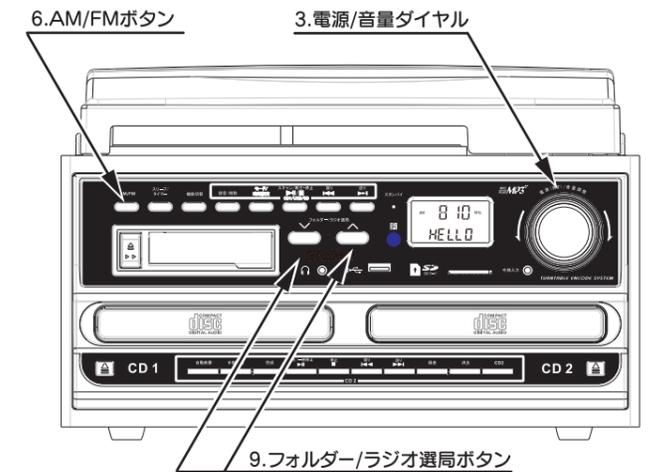
AMラジオを聴取する場合は上記を参照のうえAMループアンテナを組立・接続してご使用下さい。

ラジオの受信方法

- ① [3.電源/音量ダイヤル]を押し電源オンにします。
※ディスプレイが青く光り「HELLO」が表示
- ② [6.AM/FMボタン]を押します。「TUNE」が表示
※AMの場合は周波数表示の左に小さく「AM」右に「kHz」が表示されます。
※FMの場合は周波数表示の左に小さく「FM」右に「MHz」が表示されます。

初回のみ

- ③ [1-3.スキャン/再生・一時停止]を押します。
※最低周波数→最高周波数に自動でスキャンを行い受信可能な放送をメモリー登録します
- ④ [9.フォルダー/ラジオ選局ボタン] へ▼でメモリー登録された放送局を選択します。
※プログラムNo「P-01、P-02」と表示され、その後周波数表示に戻ります。
- ⑤ 終了する場合はそのまま[3.電源/音量ダイヤル]を押して電源を切ります。



9.フォルダー/ラジオ選局ボタン

